

第10回 熱硬化性樹脂
講演討論会

講演要旨

自 昭和 35 年 11 月 10 日
至 昭和 35 年 11 月 11 日

於 大阪市立工業研究所

合成樹脂工業協会

藤野

第10回 熱硬化性樹脂講演討論会

目 次

1. エリア樹脂成型材料の高周波予熱特性におよぼす
タブレット密度の影響
大阪市工研 殿谷 三郎, 瀬戸 正二…………… 1
2. ノボラック生成初期反応にみられるアセタール化
合物について
大阪市工研 堀内 光…………… 4
3. ポリエーテル型キシレンホルムアルデヒド樹脂と
その芳香族炭化水素との熱硬化性について
大阪市 井本 稔, 日本瓦斯化学KK 黄 慶 登, リヂンKK 中尾 蔵 通…………… 7
4. 尿素-ホルムアルデヒド初期縮合物の分子構造
広大理 村田 弘…………… 10
5. 通信機用積層板の研究
電気通信研究所 片桐 正昭…………… 13
6. メラミン成形材料の成形時の温度と圧力と時間と
がその機械的性質に及ぼす影響について
工学院大学 山口 章三郎, 大柳 康, 長島 明夫…………… 19
7. ガラス繊維を含むポリエステル成形材料の成形時
の温度と圧力と時間とが成形品の機械的性質に及
ぼす影響について
工学院大学 山口 章三郎, 大柳 康, 白山製作所 浜口 雅生…………… 25

8. フェノールレジンをを用いた切断砥石の減耗について
電気試験所 ○小林 昭, 樋浦 朝海……………30
9. 液状不飽和ポリエステル樹脂の硬化反応
日立製作所 ○田中久雄, 武藤みどり……………34
10. 熱硬化性樹脂の高温におけるロックウエルカタサ
と架橋密度との関連性について
第2報 理論式の検討
理研合成樹脂株式会社タケ原研究所 秋田 務……………36
11. 熱硬化性樹脂の高温におけるロックウエルカタサ
と架橋密度との関連性について
第3報 自由減衰振動法との比較
秋田 務……………39
12. 歪回復法による重合型熱硬化性樹脂の粘弾性挙動
の測定
理化学研究所 伊藤 勝彦……………41
13. エポキシ基の2,3の反応性について
(その2 第3級アミンの作用)
住友ベークライト ○中塚 隆三, 川本 忠……………46
14. エポキシ樹脂に関する研究(第1報)
エポキシ樹脂の酸無水物による硬化反応
丸正産業KK小台研究所 ○田中芳雄, 横浜国立大学工学部 垣内 弘……………49
15. エポキシ樹脂の硬化(第6報)
0-デメチルアミノメチルフエノールによる硬化
京都市工業指導所 ○佐伯健作, 加門 隆, 村田 健……………58